



あかね文庫お話しの会 おひさまだより



2013年1月 第6号

子どもの頃好きだった絵本

“おうちの方にききました”

☀️ まいママさん 『半日村』

買ってもらったのか、保育園で借りてきたのか...? 絵も話もすごく印象的でした。絵はこわいけど、「読んでもらいたい」気持ちの方が強く、母に何度も読んでもらいました。

本を読んでもらったという記憶はあまり多くないけど、本の内容は意外にいまでもよく覚えているので、子どもに本を読んであげることは大切なんだと思います。

子どもは飽きないし、真剣に聞いてくれるので、これからもたくさん読んであげたいと思います。



えほんの紹介

『半日村』 齊藤隆介・作 滝平二郎・
絵 岩崎書店 :

山の陰で一日のうち半日しか陽があたらない半日村。その貧しい村に一日太陽を当てようと、一人の男の子一平がうしろの高い山を削り始めます。はじめはばかにしていた子どもたちが、そのうち一平を助けて一緒に山を削りだし、それに大人たちも加わって村全体に広がり、ついに悲願を達成させます。 齊藤・滝平コンビの切り絵による創作民話絵本には、強くて優しい主人公が登場し、見る者の共感を引き起こし、心に深く印象が残ります。

小さなおともだち

プレイルームで音楽会♪

ある日のプレイルームです。つんつくせんせいシリーズが大好きなMちゃんは、今日はつんつくせんせいの本に登場人物が似ている『げんきなマドレーヌ』を読んでもらって大満足です。その後、台の上にキーボードをのせてもらって、Mちゃんがポン！と指でキーを叩くと次々とメロディーが. . .♪♪♪ (いぬのおまわりさん)や(きらきらぼし)など、気がつく私たちみんなで楽しいロディーに合わせてず〜っと歌っていました。プレイルームがまるで音楽会のような感じでした。